

開講期	2025年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	5125 映像文化論1			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	人数制限(抽選)			定員	124
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	金曜3限				
教室	B205教室				
代表教員	飯田 基晴				
担当教員	飯田 基晴				
テーマと到達目標	19世紀末に誕生した「映画」は世界へ広がり、人類を魅了してきました。本授業では国内外の様々な映画をフィクション、ドキュメンタリー問わず鑑賞します。映画の歴史はそのまま、二度の世界大戦を含む激動の近現代史とも重なります。前期の授業では、年代を追って映画を鑑賞し、映画史とともに現代史を見つめていきます。映画表現の変遷と多様性を体験し、世界へのイメージを広げてください。				
概要	映画の鑑賞が主ですが、社会背景や映画表現の特徴など解説していきます。主体的に映画を観て、自らの考えを深めてください。毎回、400字ほどのレポートの提出を求めます。授業参加とその提出をもって出席とします。学生の反応を見て、授業計画を変更することがあります。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員 (複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	オリエンテーション				対面授業
第2回	草創期の映画				対面授業
第3回	サイレント映画の魅力1				対面授業
第4回	サイレント映画の魅力2				対面授業
第5回	第一次世界大戦と映画				対面授業
第6回	第二次世界大戦とプロパガンダ映画				対面授業
第7回	敗戦後の情景・小津安二郎				対面授業
第8回	戦争責任者の問題				対面授業
第9回	黄金期の日本映画・成瀬巳喜男				対面授業
第10回	アメリカの繁栄と影1				対面授業
第11回	アメリカの繁栄と影2				対面授業
第12回	アメリカの繁栄と影3				対面授業
第13回	戦争の記憶・忘却1				対面授業
第14回	戦争の記憶・忘却2				対面授業
第15回	戦争の記憶・忘却3				対面授業
成績評価の基準	毎回、映画を見て、気づいたこと、考えたことなどを400字ほどのレポートで和光ポータルに添付してもらいます。出席カードとレポートとを合わせて1回の出席とします。 授業の出席と毎回のレポート(70%)、期末レポート(30%)で総合的に評価します。				
履修にあたっての留意事項	定員を超えた場合は抽選とします。毎回のレポート内容を重視します。映画にしっかりと向き合ってもらえれば、講義を通じてきっと自分の世界が広がる実感があることと思います。この授業は、実務経験のある教員による授業です。私自身、長らく映画・映像制作に取り組んできました。その実務経験を生かした説明もします。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件	T学科				

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用			
教科書		教科書(ISBN)	
参考文献		参考文献(ISBN)	